

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

2019年度高大社連携フューチャーセッション 公開振り返り会

発表者▶ 高校生・大学生

コーディネーター▶ 杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）

コーディネーター▶ 鮫島 輝美（京都光華女子大学健康科学部看護学科講師）

「高大社連携フューチャーセッション」とは、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて交流するキャリア教育企画である。今回の分科会では、9月22日京都市内、9月29日京都府北部にて開催した際に参加した高校生・大学生が集い、それぞれの会場で得た学びや気づきを振り返る公開振り返り会を行った。本会では、参加者が高校生・大学生の生の声を聴くことで、思考・行動のプロセスを体験し、質疑応答を通して対話の機会とすることを目指した。

概 略

前半はまずコーディネーターの杉岡秀紀准教授から本特別分科会の目的・目標・進行案について説明があった。次に2会場（9月22日の京都市開催回と9月29日の京都府北部開催回）の参加者16名でKPT（Keep・Problem・Tryの3つの視点から振り返る）という手法を用い、個人ワークを行った。その後、24名の見学者を迎え、鮫島輝美講師が9月22日に担当した「高大社連携フューチャーセッション@京都市内」のアンケート結果報告を行った。続いて、杉岡秀紀准教授が9月29日に担当した「高大社連携フューチャーセッション@京都府北部」のアンケート結果報告を行った。

中盤はKPTシートを活用して、グループで振り返りを行った後、ワールドカフェ（グループに一人残り全員が別のグループに移動）という手法を活用し、グループを3回変えながら、全体で気づきや学びを共有した。

後半は、フィッシュボール（金魚鉢）という手法を用いながら、会場との質疑、また「今後、ここで得た学びや気づきをどうしていきたいか」をテーマに一人一人決意表明をし、閉会した。

全体討論の内容

オブザーブされた見学者からは「だんだん仲よしに、発言が深くなっていく様子はよかった。Q&A、決意表明もすばらしかった」「高校生の考え方を聞くというのは日頃ない機会です、とても新鮮だった」「最後の学生たちのコミットと鮫島先生のコメントに、自分自身を顧みることができた」「生徒たちの変化の様子が見られて良かった。高校生と大学生のグループワークは学びが多そう。キャリアから進路につなげるスキル（次のステージへの移行のポイント）を知りたい」などのコメントが寄せられた。

以上の感想なども鑑み、本高大社連携フューチャーセッションは、①学校、学年、学校種、地域などの枠を超えて、つながれる（斜めの関係構築）、②「社会の教育力」を信じ、学校が送り出せる（教師・教員はその仕掛け役、架け橋役）、③学生が「主人公」となる場と機会になり得る、④学校・大学の外で社会（他者）と出会う機会となっている、と総括できる。

到達点と今後の課題

本年度の特別分科会②は、昨年度までと違い、フォーラム当日に「高大社連携フューチャーセッション」の振り返り会を実施した。この工夫（アレンジ）により、企画に参加した高校生や大学生の「生の声」や「学びや気づき」「成長の足跡」などが立体化でき、高校生、大学生個々人が内省しつつ、交流もできる機会を創造できた。加えて、見学者にとっても、2会場それぞれの善し悪しを1日かつ直接比較検証できる機会をつくれた。この一挙両得性が本セッションのねらいであり、言わば到達点と言えるだろう。アンケート（外部評価）でも、9割の参加者が「満足」もしくは「やや満足」と、比較的良い評価をいただいた。

他方、課題としては、①参加できる学生に限りがあったこと、②簡単な写真とテキストだけでは、当日の機微を見学者に伝えにくかったこと、などが挙げられる。これらの点については今後の課題としたい。



スライド1

2019年12月7日資料

「第17回高大連携教育フォーラム」高大社連携キャリア教育特別分科会②

高大社連携フューチャーセッション 公開ふりかえり会

1. はじめに
2. 本日の進め方
3. フューチャーセッションとは何か
4. 質疑応答
5. まとめ

鮫島 輝美 京都光華女子大学健康科学部看護学科講師
大学コンソーシアム京都 高大連携推進室員

杉岡 秀紀 福知山公立大学地域経営学部准教授
大学コンソーシアム京都 高大連携推進室員

スライド2

12/7(土)
2019
10:00-17:30(受付9:30-)

キャンパスプラザ京都

参加費(税込) 学生券 1,000円
正会員券 2,000円

「教育の接続」としての 入試改革

「高校までの学習・能力の育成を、
大学でつなげる」

第1部 高大接続改革を捉え直す
～コンピテンシーの視点から～
※ 白井 優氏 (独立行政法人大学入試センター-経理・研究開発部)

第2部 主体性等評価にどう向き合うか
～高校から大学への教育接続を意識して～
※ 西郡 大氏 (慶応大学アドミッションセンター-員・教授)

第3部 高校までの学習・能力の育成を大学でどう評価するか
※ 藤原 謙一氏 (慶応大学アドミッションセンター-員・教授)
※ 藤原 謙一氏 (慶応大学アドミッションセンター-員・教授)

スライド3

第2部 分科会 15:30-17:30 「学びの接続」を考えるII

昨年度の分科会では、「学びの接続」を考慮するために、一人ひとりの教育・学習の意識・意欲の育成について高校と大学が協議する場を設けた。今年度は「学びの接続」をさらに広げるため、入試改革に焦点をあてた視点からも考える場とした。

また、2020年3月1日に大学入学共通テストの導入をめぐり、入試改革の動向について、大学入試センターと関係機関との協議、教育の高度化に関する議論、教育の高度化に関する議論、さらに主体性等の評価に関する議論を含めて、京都府教育委員会、京都府立大学、京都府立大学高等学院、大学コンソーシアム京都で開催し、今年同様、「国語」「英語」「数学」「理科」「社会」の分科会を設けた。各分科会での教育関係者70名以上、大学教員との接続を促進するための両機関の連携を深めようとする場を設けた。

| 第1分科会【国語】 | 第2分科会【地理・公民】 | 第3分科会【数学】 | 第4分科会【理科】 |
|---|---|--|--|
| 高大接続改革が拓く課題の可能性 ～一次入学共通テストと新学習指導要領から考える～ | 主体的・対症的で深い学びを 達成する学習能力 ～大学での学びに繋がるか～ | スムーズな高大連携、数学 を楽しく学び続ける人を 育てるとりくみを交流する | 高等学校理科における主体性 とは～高度を目指す「能力」と 大学入試での評価～ |
| 報告者 藤田 康行氏 (京都府立大学) / 報告者 久嶋 氏 (京都府立大学) / 報告者 山田 誠之介氏 (京都府立大学) | 報告者 木塚 功一氏 (京都府立大学) / 報告者 野村 尚平氏 (京都府立大学) / 報告者 平野 尚則氏 (京都府立大学) / 報告者 滝本 謙之氏 (京都府立大学) | 報告者 西村 経典氏 (京都府立大学) / 報告者 早田 雅史氏 (京都府立大学) / 報告者 藤田 敏氏 (京都府立大学) | 報告者 藤本 謙氏 (京都府立大学) / 報告者 若本 淳一氏 (京都府立大学) / 報告者 岡崎 敬紀氏 (京都府立大学) |
| 第5分科会【英語】 | 特別分科会①【アドミッション専門人材開発】 | 特別分科会②【高大社連携キャリア教育】 | |
| 豊かな表現力につながる 思考力の涵養を目指して | 第3回アドミッション・ スペシャリスト能力開発 研修会(京都会場) | 2019年度高大社連携 フューチャーセッション 公開振り返り会 | |
| 報告者 牧野 龍士氏 (京都府立大学) / 報告者 寺井由美子氏 (京都府立大学) / 報告者 藤田 五郎氏 (京都府立大学) | 報告者 立橋 洋介氏 (京都府立大学) / 報告者 水村 紀由氏 (京都府立大学) / 報告者 山本以衛子氏 (京都府立大学) | 報告者 高校生・大学生 / 報告者 杉岡 秀紀氏 (福知山公立大学) / 報告者 鮫島 輝美氏 (京都光華女子大学) | |

スライド4

名前・出身 所属・学年

今日のランチ 今の気持ち

7

スライド5

1. はじめに

【2019年度テーマ】

「これから社会で必要とされる仕事とは？」

(参考)
2018年度テーマ「高大連携の現段階の到達点とミライー高校、大学それぞれの立場から」
2017年度テーマ「高大連携の必要性と課題ー学生が育つ環境は誰が創るのかー」

杉岡秀紀(福知山公立大学)

8

スライド6

1. はじめに

個人ワーク

15

スライド7

1. はじめに

本日使用する手法=KPT

16

スライド8

理想と現実の差 = 課題

17

スライド9

KPT

| | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| <p>Keep 継続すること</p> | <p>Try 新たに挑戦すること</p> |
| <p>Problem 改善すること</p> | |

(Arrows indicate a flow from Keep to Problem, and from Problem to Try)

スライド10

KPT

| | |
|---|--|
| <p>継続すること Keep</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社サービスのごとくに魅力を感じてもらえるのかヒアリングできた 「説明が分かりやすい」と言ってもらえた 展示会に出店する流れに必要なツールを把握できた | <p>新たに挑戦すること Try</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートを用意する(最低限ヒアリングする共通の項目を設定しておく) 名刺をもらう役割の人を1人選ぶ SNSのフォローやLINE@へ誘導する 事例の数を10種類まで増やす(業種ごとに対応できるようにする) 簡便告知だけでなく、設立情報なども配信して、展示会に参加できない人への訴求力を高める 展示会中のコミュニケーション内容をQA&Aコンテンツ化する |
| <p>改善すること Problem</p> <ul style="list-style-type: none"> 名刺もらうのに必要で対応が難しかった場面があった 目をひくようなコンテンツがなかった 出席前後の情報発信がうまくできなかった 事例の数が少なかった(今回3つ) | |

(Arrows indicate a flow from Keep to Try, and from Problem to Try)

スライド11

高大連携フューチャーセッション 振り返り会 グループワークシート (KPT)

グループ名 _____ 参加者 _____

| | |
|------------------|-----------------|
| Keep (継続すること) | Try (新たに挑戦すること) |
| Problem (改善すること) | |

スライド12

(2016年度)

未来の自分と出会う一日

**高大連携
フューチャーセッション
in 福知山公立大学**

日時 2017年3月19日(日) 10:30-16:00 (受付開始 10:00)

会場 福知山公立大学 にじいの森堂
〒620-0192 福知山公立大学
〒620-0192 福知山公立大学

対象 高校生・大学生 (決断を伴う、卒業後の高校・大学に通う学生は不可)
※参加費無料、定員 定数まで参加 可!!

主なプログラム **「ライフデザインソサエティデザインフューチャーデザイン」**

- 「夢」の原点を探る(自己発見)
- 社会人の「夢」が仕事について語っている
- 自分自身が「夢」を叶える方法について学ぶ
- 夢を叶えるための具体的な行動計画を立てる

お申し込み 福知山公立大学 学生課 事務局
お問い合わせ kudo@univport.ac.jp
http://www.univport.ac.jp/foyer/171216
TEL 077-322-8111 (ホリデーダイヤル)

主催 京都府立大学 学生課 事務局 共催 福知山公立大学

※1 本セッションは、参加者の自己発見を目的としており、就職活動のサポートではありません。

スライド13



スライド14

(2017年度)

高大連携フューチャーセッション

地域づくりは誰のためか？
何のためか？
～マルチセクターから考える～

日時 2018-2-24(日) 11:00-16:30 (受付開始10:30)

会場 福知山市 市民交流プラザ 市民交流スペース
117号ホール 福知山市福知山駅前 福知山駅前駅

対象 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

内容 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

タイムスケジュール

- 11:00- 開会挨拶、アイスブレイク
- 12:00- 昼休憩 (場外 本郷 本郷ビル1F)
- 13:00- ロールモデルトーク
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 14:30- ワークショップ
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 16:00- 振り返り、まとめ
- 16:30 終了

【講師】高橋 隆夫 (元山崎製パン社長)
山本 浩一 (元山崎製パン社長)

京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

【主催】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【協賛】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【お問い合わせ先】
社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

【主催】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【協賛】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【お問い合わせ先】
社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

スライド15

(2018年度)

働く学を どう繋げるか？
一人前にはいられない
一人前にはいられない
～マルチセクターから考える～

日時 2018-11-3(日) 11:00-16:30 (受付開始10:30)

会場 福知山市 市民交流プラザ 市民交流スペース
117号ホール 福知山市福知山駅前 福知山駅前駅

対象 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

内容 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

タイムスケジュール

- 11:00- 開会挨拶、アイスブレイク
- 12:00- 昼休憩 (場外 本郷 本郷ビル1F)
- 13:00- ロールモデルトーク
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 14:30- ワークショップ
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 16:00- 振り返り、まとめ
- 16:30 終了

【講師】高橋 隆夫 (元山崎製パン社長)
山本 浩一 (元山崎製パン社長)

京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

【主催】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【協賛】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【お問い合わせ先】
社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

スライド16

9月22日(日) 11:00-16:00 (受付開始10:30)
京都市内会場

9月29日(日) 11:00-16:00 (受付開始10:30)
京都府北部会場

2019年度高大連携フューチャーセッション

これから社会で必要とされる仕事とは？

京都市内会場

京都府北部会場

日時 2019-9-22(日) 11:00-16:00 (受付開始10:30)

会場 京都市内会場

対象 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

内容 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

タイムスケジュール

- 11:00- 開会挨拶、アイスブレイク
- 12:00- 昼休憩 (場外 本郷 本郷ビル1F)
- 13:00- ロールモデルトーク
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 14:30- ワークショップ
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 16:00- 振り返り、まとめ
- 16:30 終了

【講師】高橋 隆夫 (元山崎製パン社長)
山本 浩一 (元山崎製パン社長)

京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

【主催】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【協賛】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【お問い合わせ先】
社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

スライド17

2019年度高大連携フューチャーセッション

働く学を どう繋げるか？
一人前にはいられない
一人前にはいられない
～マルチセクターから考える～

日時 2019-12-7(土) 11:00-16:30 (受付開始10:30)

会場 京都市内会場

対象 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

内容 京都府内の高校・大学に通う高校生・大学生 (定員名30名)
※参加費無料、大学生については参加費が別途あり

タイムスケジュール

- 11:00- 開会挨拶、アイスブレイク
- 12:00- 昼休憩 (場外 本郷 本郷ビル1F)
- 13:00- ロールモデルトーク
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 14:30- ワークショップ
【高橋 隆夫】、【山本 浩一】、【山本 浩一】、【山本 浩一】
- 16:00- 振り返り、まとめ
- 16:30 終了

【講師】高橋 隆夫 (元山崎製パン社長)
山本 浩一 (元山崎製パン社長)

京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

【主催】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【協賛】京都府立総合政策学部 社会福祉学系 社会福祉学専攻

【お問い合わせ先】
社会福祉学系 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻 社会福祉学専攻
〒612-8502 京都府福知山市福知山駅前 市民交流プラザ 117号ホール
TEL: 077-353-9153 (直) FAX: 077-353-9151 E-mail: hokkaido@koc.ac.jp

スライド18

1. はじめに

【目的】

- ① 9月22日(京都市内)、9月29日(京都府北部)に実施する高大連携フューチャーセッションの効果を検証するためにも、今年度も事業のフォローアップの機会を設け、参加者の思考変容、行動変容について捕捉する機会をつくる。
- ② この場を高大連携教育フォーラムの特別分科会に位置付けることで京都市内外の関心を持つ方々にも高校生・大学生たちの生の声を聞いてもらう機会を提供する。
- ③ 高大連携の緩やかなコミュニティの場を創造しつつ、次年度以降の事業を検討する材料につなげていく。

29

スライド 19

1. はじめに

【目標】

①事業を通して、参加者一人一人が学び気づいた「これから社会で必要とされる仕事とは？」という問いに対する考えや自分なりの「これからの人生に対する問い」のその後を見える化し、検証する。

②普段交わることのない他校の高校生・大学生間(とりわけ京都市内と京都府北部)で交流し、新たなネットワークを「再」創造するための機会を提供する。

③次年度のアイデアについて「経験者」ならではの奇譚のない意見や「外部」視点からの提案をもらい、次年度以降の事業を検討する材料につなげる。

33

スライド 20

1. はじめに

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力 人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

「豊かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて醸成化

何を理解しているか 何ができるか
知識・技能

理解していること・できることをどう使うか
思考力・判断力・表現力等

(出所)中教審答申(2016)

34

スライド 21

2. 本日の進め方

【本日午前のセッションより(1)】

主体性の育成

↓

受け身からの脱却

(出所)西郡大(佐賀大学)「主体性等評価をどう向き合うか」(2019)

35

スライド 22

2. 本日の進め方

【本日午前のセッションより(2)】

個人の頑張り

↓

協同(働)学習

(出所)西郡大(佐賀大学)「主体性等評価をどう向き合うか」(2019)

36

スライド 23

2. 本日の進め方

【本日午前のセッションより(3)】

未知な課題に対処する力

(出所)大西俊弘(龍谷大学)「高校までの資質・能力の育成をどう評価するか」(2019)

37

スライド 24

2. 本日の進め方

【進行案】

(1)内部向け開会挨拶・事務説明

(2)個人ワーク

(3)外部向け開会挨拶・事務説明

(4)ワークショップ①

(5)ワークショップ②

(6)会場(フロア)との質疑応答

(7)講評

(8)事務説明

38

2. 本日の進め方

【京都市内(9.22)アンケート結果】



39


2. 本日の進め方

【京都市内(9.22)アンケート結果】

高次社連携フューチャーセッション<京都市内会場> アンケート結果(抜粋)


1 満足度

| 満足度 | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|------|
| 満足 | 10 | 69% |
| やや満足 | 3 | 21% |
| どちらでもない | 0 | - |
| やや不満 | 0 | - |
| 不満 | 0 | - |
| 未回答 | 0 | - |
| 合計 | 26 | 100% |



2 将来度

| 将来度 | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|------|
| 将来したい | 16 | 62% |
| やや将来したい | 7 | 27% |
| どちらでもない | 0 | 0% |
| 将来したくない | 0 | - |
| 将来したくない | 0 | - |
| 未回答 | 1 | 4% |
| 合計 | 26 | 100% |



40

京都市内会場

NPO法人D×P 理事長 今井紀明氏

- ・ 高校時代 イラク拉致事件
社会的バッシングから引きこもりに
- ・ 大学時代 信頼できる友人との出会い
- ・ 親、先生、友達に否定され(生きづらさ)を抱えた
高校生の支援する仕事へ

ルールはひとつ「否定しない」こと

満足した理由

- ・ 年代の違う人との交流
- ・ 興味深い話題
- ・ 視野が広がった
- ・ 新しい考え方をすることができた
- ・ 将来の活力になった

社会で必要とされる仕事

- ・ AIに仕事を取られることは怖いことではない
- ・ 自分の好きなこと興味があることが仕事につながる
- ・ 仕事とはどういうことかをもっと考える
- ・ 何のために働くのかを考え直す
- ・ 人と人とが関わる仕事が大切
- ・ 「自分の身の回りの課題を解決する」

気づきや学び

- ・ 色々な年代と交流することで意見が深まった
- ・ 経験をして自分を知り、方向性を知る
- ・ 失敗を恐れなくて、興味のあることを掘り下げる
- ・ 社会において必要とされる仕事に正解はない
- ・ 漠然とした不安ではなく、勇気をもらった
- ・ AIに対する意見が多く偏っていると感じた
- ・ 自分の将来のためにたくさん知識が必要
- ・ 自分にはない価値観に触れ、視野が広がった

2. 本日の進め方

【京都市内(9.29)アンケート結果】




45


2. 本日の進め方

【京都市内(9.29)アンケート結果】

富大社連携フューチャーセッション<京都府北部会場> アンケート結果(抜粋)

1 満足度


| 満足度 | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|------|
| 満足 | 27 | 75% |
| やや満足 | 18 | 50% |
| どちらでもない | 1 | 3% |
| やや不満 | 0 | - |
| 不満 | 0 | - |
| 未回答 | 0 | - |
| 合計 | 53 | 100% |



- ・満足
- ・やや満足
- ・どちらでもない
- ・やや不満
- ・不満
- ・未回答

2 憧れ度

| 憧れ度 | 回答数 | 割合 |
|-----------|-----|------|
| 憧れたい | 35 | 66% |
| やや憧れたい | 14 | 26% |
| どちらでもない | 3 | 6% |
| あまり憧れたくない | 0 | - |
| 憧れたくない | 0 | - |
| 未回答 | 1 | 2% |
| 合計 | 53 | 100% |



- ・憧れたい
- ・やや憧れたい
- ・どちらでもない
- ・あまり憧れたくない
- ・憧れたくない
- ・未回答

3

2. 本日の進め方

【田村篤史さん(ツナグム代表取締役)】

- ・長岡京市生まれ。
- ・立命館大学時代に、APUに留学。
- ・大学卒業後、海外放浪をし、人材派遣の企業(東京)に就職。
- ・2012年に京都にUターンし、京都移住計画設立。現在は大学キャリア系講義や企業の採用支援・組織活性化を支援。

47

2. 本日の進め方

【心に残ったキーワード】

- ・正解主義<修正主義
- ・計画的偶然性理論
- ・「活」私奉公
- ・知らない職業にはつかない。
- ・嫉妬する人たちに出会えた。
- ・寄り道して良い。
- ・夢中に働く。

48

2. 本日の進め方

【満足した理由】

- ・自分にはない意見がたくさん聞けた。
- ・未知だったものが既知に変えられた。
- ・田村さんの話を聞け、視野が広がった。
- ・職というより、人生の生き方について幅が広がった。
- ・人と考えを共有する大切さをしれた。

49

2. 本日の進め方

【社会で必要とされる仕事】

- ・感情、仕事の融合、人を癒す+助けるなど AIにはできないことを支えることが必要。
- ・安定した将来をイメージしていたが、人と関わること、寄り添うことが大事だと分かった。
- ・地域など人と人との交流の仕事は必要であることを自覚できた。
- ・個性ある仕事、個人を商品とする仕事。

50

2. 本日の進め方

【気づきや学び】

- ・正しさより楽しさ、自分から行動することの大切さ、人と関わることの大切さ。
- ・自分が気になることにチャレンジして、自分の知識を広げることが大事と思った。
- ・固定観念に縛られず、「自分らしさとは何か」を見失わず、今後自分の進む道を決めて行きたい。
- ・価値観をどんどんアップグレードしていかなければならないと思った。

51

3. フューチャーセッション

【フューチャーセッション】



新たな価値を創造するため、多様な価値観をもつ人々が対等な立場で未来志向で議論し、交流を深める場のこと。

異なる価値観、立場の方々が交流することを通して、新たな知恵を創造し、新規事業の芽を見出していくことを目的とする

未来の価値を生み出すための対話

52

3. フューチャーセッション


【ワークショップ①】

**「FC後に変わったこと、
変わらなかったこと」**
(グループとしてのKPTシートを作る)

役割: 司会、タイムキーパー、書記、発表

53

ワールドカフェ(15分×2R)
(一人だけ残して、全員違うグループに。
自己紹介シートとKPTシートを持って行こう)



【1R】16時15分まで
【2R】16時30分まで

54


3. フューチャーセッション

【ワークショップ②】

**「今後、FS得た学びや気づきを
どうしていきたいか」**
(決意表明)

55

フィッシュボール
(決意表明シートを持って真ん中に集まろう)



二重の円陣
内側… 相談グループ
外側… 観察グループ

- ✓: 全員が輪になって話し合います。
- ✓: 内側に話す人、外側に聞く人になります
- ✓: 内側で話し終わって聞き手にまわる場合は外側に出ます。外側で話したくなった人は内側に入ります
- ✓: 話の長さ気に気をつけて下さい
- ✓: 遠慮は無用です

56

4. 質疑応答

フロア(会場)との質疑

57

5. まとめ

- ①学校、学年、学校種、地域など枠を超えて、繋がれる場(斜めの関係)を大切に
- ②「社会の教育力」を信じ、学校に入れる
(教師・教員はその仕掛け役、架け橋に)
- ③「学生中心≠大人の都合」で常に考える

58